

勝浦市の紹介

1. 勝浦の由来

古くは桂浦、葛浦、勝占とも表記されてきました。この地名は、紀伊勝浦、土佐桂との関係に由来するとも、開拓の祖「勝占の忌部」の名に由来するとも、天然の良港すなわち勝れた浦の意に由来するとも言われております。 千葉県地名大辞典より

2. 沿革

明治22年（1889年）町村制の施行により勝浦村・豊浜村・清海村・上野村・総野村が生まれました。

翌23年には勝浦村は勝浦町に、清海村は大正10年（1921年）興津町となり、昭和12年4月1日に勝浦町は豊浜村と合併。

28年の町村合併促進法に基づき、30年2月11日に4ヵ町村が合併して勝浦町に。

さらに33年10月1日、千葉県内18番目の市として誕生しました。



3. 位置

千葉県の南東部に位置し、都心から約75km圏内に位置しています。

市域は黒潮の北上する太平洋岸に面し、海岸線は自然景観に富んでいます。

市北西部は房総丘陵に属する海拔150～250mの丘陵性山地が広く分布し、平坦地の少ない地形です。



北緯：35度08分
海拔：0～268m
東西延長：14km
南北延長：12.5km
周囲：67.00km
面積：94.20平方キロメートル
人口：21,748人（H20.8現在）

4. 故郷自慢 ～勝浦市民の誇り～

勝浦は古くから漁業により栄え、カツオ・イセエビの水揚げ量は全国トップクラスです。

また、美しい砂浜とリアス式海岸の織りなす風景は、勝浦を訪れる人々に深い感銘を与え続けています。

きれいな海



全国トップクラスのカツオ・伊勢エビ



400年続く朝市